

## 平成31年度(2019年度)事業計画書

平成31年(2019年)1月1日～2019年12月31日

平成31年度事業計画について、定款に基づき下記の事業を行う。

### 1. 第29回日米草の根交流サミット2019・兵庫・姫路大会の開催

開催地: 兵庫県内各地

共催団体: 兵庫県、姫路市、CIE-US

開催時期: 2019年6月24日(月)から7月1日(月)

内容: 第29回日米草の根交流サミット大会を、姫路市を中心に兵庫県内において開催する。主催は、CIE、CIE-US、兵庫県及び姫路市。後援として米国大使館のご協力を頂き、大会実行委員会には神戸日米協会及び各地域分科会開催市の国際課(関係担当課)及び国際交流協会が加わる。

#### **【 兵庫・姫路大会の概要と準備 】**

兵庫県知事の井戸敏三氏、姫路市長の石見利勝<sup>いわみ</sup>氏、神戸日米協会会長の尾山基氏(アシックス代表取締役会長兼CEO)らの協力を得ながら、県庁産業労働部国際課に事務局を置いて受入れ準備を進める。アメリカからの参加者には、世界文化遺産・国宝である姫路城の見学等も含め、国際都市から農山村・離島まで個性あふれる地域で構成された兵庫の歴史と文化を学んでいただくとともに、多様な気候と風土、日本のおもてなしの心に触れていただく。

兵庫到着2日目(6/26)のローカル・ツアーは、以下の3コースを提供する。

A:「姫路城」コース

B:「好古園日本庭園と姫路城三の丸広場」コース

C:「書寫山圓教寺」コース

ローカル・ツアー後、参加者には姫路城前の「あいめっせホール」に集まっていただき、姫路市主催のオープニング式典を開催する。その後、姫路城の東側に位置する「清交倶楽部」に移動し、歓迎レセプションを開催。

大会3日目(6/27)からは、以下の10市でそれぞれの地域分科会プログラムを3泊4日の日程で開催する。

- － 姫路市
- － 神戸市
- － 西宮市
- － 宝塚市
- － 篠山市
- － 丹波市
- － 淡路市
- － 加東市
- － たつの市
- － 朝来市

また、ワシントン州からの高校生及び中学生の参加を促しており、TOMODACHI 及び東京倶楽部の助成金申請によって参加可能の際には受入校として以下の2校が準備を進めている。

- － 宝塚西高校
- － 兵庫県立大学付属中学校

大会6日目(6/30)の兵庫県主催によるクロージング式典とそれに続くフェアウェル・パーティーは、世界的建築家・安藤忠雄氏設計の「淡路夢舞台」にて、ホストファミリーも交えて開催予定。淡路人形浄瑠璃と淡路踊りの披露を準備している。

#### **【 ポスト・サミット・オプショナル・プログラム 】**

兵庫での大会終了後は、次の4つのポスト・サミット・オプショナル・プログラムを提供する。

1. 京都ホームステイ二日と東京
2. 金沢ホームステイ二泊、能登ホームステイ二泊と東京
3. 京都フリー三泊
4. 東京フリー三泊

#### **【 アメリカでの参加者募集活動 】**

兵庫・姫路大会へのアメリカからの渡航参加者について、100人を目標とし、CIE-USのマーケティング委員会メンバーや、米国在住の既存の協力者からの支援を得て、募集活動を進める。全米各地の日米

協会(日本協会)に対しても、NAJASのネットワークを利用して、インセンティブを示しながら募集への協力を呼びかける。

また、以下のグループ参加も促すこととする。

- ワシントン州マウントバーノン高校生徒 10 名と引率者

(マウントバーノン高校には、平成 30 年のシアトル・ワシントン州大会の際、奈良県立畝傍高校の生徒 15 名と引率者 3 名を受け入れていただいた)

- ワシントン州ベルビュー市タイイー中学校生徒 10 名と引率者

(タイイー中学校には、平成 30 年のシアトル・ワシントン州大会の際、福島県川内中学、葛尾中学の生徒と引率者合計 31 名を受け入れていただいた)

- テキサス大学と引率者

(平成 27 年から開始したテキサス大学との連携プログラムを平成 31 年も実施する。現在 Jindal School of Management の海外研修の単位を必要とするカリキュラムとして当プログラムは組み入れられているので、参加することにより学生は必須単位を取得することになる。このプログラムでは、兵庫・姫路大会の後、高知大学で1週間学び、その後東京で4、5社の企業などを訪問する。15~20名の参加を目標とする。)

## 2. 第 30 回日米草の根交流サミット大会の開催準備

開催地: 米国ペンシルヴァニア州フィラデルフィアを中心とした地域

共催団体: フィラデルフィア日米協会 (JASGP)、CIE-US

開催時期: 2020 年 10 月 6 日(火)~10 月 13 日(火)

内容: JASGP とともに、大会までの行程表を確認しあい、準備を進める。

日本での参加者募集活動については、兵庫・姫路大会までには簡易なチラシを製作し、大会期間中から広報を開始する。本格的なホームページとパンフレットは 9 月までに完成させ、募集を開始。ペンシルヴァニア州の市と姉妹都市提携をしている日本の市町村への働きかけも行う。

### 3. 情報の発信

#### (1) ニュースレター「草の根通信」

平成 31 年度中に4回発行する。財団ウェブサイトに掲載するとともに、必要部数を冊子として製本し、賛助会員、寄付者、次年度開催地の関係者、ボランティア等に配布。兵庫・姫路大会開催に関する広報機能も有したものとする。

#### (2) 活動報告書(アニュアルアクティビティレポート)の刊行

内 容: 第29回日米草の根交流サミット2019兵庫・姫路大会と、その他の平成 31(2019)年度中の活動報告。日英の両言語表記。

配布先: 財団及び大会関係者、第 28 回、第 29 回大会関係者  
広報資料としても活用。

#### (3) 電子媒体

##### ① ホームページの活用

紙媒体だけでは伝えきれない情報やホームページでしか見られない情報を配信することにより、ホームページ情報の重要度を紙媒体同様に高めるよう努める。できるだけ最新のサミット大会情報にアクセスしやすいものとし、参加者募集により直接的に役立つものとする。

##### ② フェイスブックの利用

サミット大会中のこまめな写真アップロード等でアメリカ人参加者およびその家族や友人のアクセス数増加を図り、日本への関心を高める。また、情報のこまめな書き込みにより日本人の来年度サミット大会参加への意欲をつなぐ。

##### ③ メーリングリストの導入

過去参加者への広報活動の一つとして Facebook へのアクセスを持たない人たちへメールによって直接的にメッセージを届け、一層の情報発信に努める。特に日本人参加者の電子メール利用率を上げるきっかけにつなげる。

以上